

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 保育所保育指針に基づき指導計画を作成し、子どもの学びの姿や育ちについて月案会議を通して職員間で共有する。	(1) ○	子どもの姿を指針と照らし合わせて、子どもの学びについて職員間で共有することができた。
		(2) 保育士の自己評価を実施し、教育・保育の質の向上を図る。保護者アンケート・園評価を実施し次年度に活かす。	(2) ○	自己評価を実施し保育の質の向上を図ることが出来た。また、保護者アンケートの結果を次回に生かせるように職員間で話し合えた。
		(3) 保育カウンセラーや専門機関と連携し、一人一人にあわせた支援を検討し実践していく。	(3) ◎	あらゆる専門機関と連携して関わり方を学び、職員間で共通理解しながら実施することができた。
		(4) 室内外の安全点検や消毒を行い、子どもの健康支援及び安全確保する。	(4) ○	安全の為にフェンスにネットをはったり、窓が割れないよう補強したりして、安全面に配慮した。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 園内リーダーを中心として園内研修を行い、専門性の向上と乳幼児保育の質の向上に努める。	(5) ○	園内研修では環境の見直しをしたり、気がかりな子への支援やクラス運営について学び、子どもにあった支援に繋げていくことができた。
		(6) 施設長自ら積極的に研修に参加し、職員と共に保育の専門性を高めていく。	(6) ◎	
		(7) 職員一人一人に必要な資質向上のための研修計画を作成し、積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ○	個々に応じた研修計画を立てて積極的に研修を受け、質の向上に努めることが出来た。
Ⅱ 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時に保護者と対話する中で、育児相談の充実を図ったり、情報を提供したりする。	(8) ◎	個人懇談や半日保育士時、送迎時に丁寧に保護者対応していき、育児相談に応じることができた。
		(9) 就学に向けての情報共有や気がかりな子の個別計画に基づいた家庭との連携の推進に努める。	(9) ◎	就学に向けて個別に懇談やケース会議を行い必要な情報は小学校や家庭、専門機関と連携するように努めた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を計画的に実施し、育児相談の場を持つ。	(10) ○	園開放は行事には参加があったが、定期的な園開放には申し込みがなかった。
		(11) 一時預かりの受け入れの実施を行い、地域子育て支援を行う。	(11) ○	
		(12) 園開放や行事への参加を呼びかけ、育児相談や援助の場を持ち育児不安の軽減を図る。	(12) ○	行事参加時に育児について話を聞いたりして、丁寧に対応できた。
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 支援の必要な児や保護者に対し、専門機関の情報提供や連携した支援を行う。	(13) ◎	個別に懇談の場を設け、情報提供を行い支援に繋げていった。
		(14) 湊地区の公民館や児童館との情報交換を図り、連携していく。	(14) △	地域との連携を図る場への参加が十分に出来なかった。
		(15) 保育カウンセラー、小学校の特別支援コーディネーターおよび特別支援学校教諭との連携を図り、スムーズな就学へとつなぐ。	(15) ◎	カウンセラー訪問時に園に来てもらったり、個別に場を設けながら、就学への支援を行えるように努めた。
		(16) 子どもについての相互理解を図るため、関係機関とのネットワーク作りに努める。	(16) ◎	様々な関係機関とつながりをもつことができた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の民生児童員と情報を共有し、地域の子育て環境の実情を把握すると共に必要な支援につなげる。	(17) ○	民生児童委員と定期的に情報交換をすることができた。
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) ボランティア、教育・保育体験の受け入れを積極的に行う。	(18) △	ボランティアや保育体験等の受け入れはなかった。
		(19) 地域の方に 人形劇、夏祭り、運動会などの園行事に参加してもらい子育て支援を広める。	(19) ○	夏祭りに地域の方に参加してもらい園児や保育士との関わりを持つことが出来た。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 様々な行事や園開放を通して、園の保護者や地域の子育て中の親との交流の場を持つ。	(20) ○	親子体操教室や小学校の先生の講演会などを開催し、子育て中の保護者の情報交換の場が持てた。
		(21) 夏祭り、秋祭り、文化祭など様々な地域の行事に参加し、交流を図る。	(21) △	地域の行事への依頼があった時には積極的に参加をしていけるようにしたい。
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修等で社会の動向に伴う保育所の役割やニーズ等について学び、職員間で学び合いの場を持つ。	(22) ○	
		(23) 保育研究大会に参加し、これからの乳幼児の教育・保育制度に関する意見交換や学び合いを行う。	(23) ◎	研究大会に参加した職員から報告を受け皆で学びあえた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案の作成と実施及び評価を行う。	(24) ○	アクションプログラムに基づき子育て支援を進めることができた。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。